



品川博さんらが外断熱 + モルタルの外壁に挑戦 鶴林寺(兵庫県加古川市)収蔵庫新築工事

聖徳太子開基の寺院として伝えられる鶴林寺(兵庫県加古川市加古川町北在家424)は、西の法隆寺とも言われる播磨地方有数の古刹である。平安時代建築の太子堂、室町時代建築の本堂(いずれも国宝)をはじめ、多くの文化財を抱えており、所有する宝物は彫刻、絵画、工芸品など二百数十点に及ぶ。今回、新たにその収蔵庫が建設されることとなった。設計は(株)古田建築設計事務所、元請は前川建設(株)(いずれも加古川市)。

外壁の左官工事を手掛けたのは、モルタルアートや鏝絵作品で著名な左官職、品川博さんだ。今回は、兄君の品川房男さん、品川清志さん、ご子息の品川福太郎さん、また平盛左官工芸の平山真也さんも共に現場入りした。工事は、昨年10月初めから約2ヶ月をかけて行われた。本項では、収蔵庫建築に込められた施主・設計の想いと、左官のノウハウが結実した外壁工事の詳細をレポートする。(編集部)



左官工事を終えた鶴林寺収蔵庫外壁



今年秋にオープンする鶴林寺収蔵庫



鶴林寺収蔵庫の設計を手掛けた古田充さん



今年建立900年を迎える太子堂(手前)と室町時代建築の本堂(奥)

命題は「文化財の保存」

収蔵庫建築の直接のきっかけとなったのは、2002年に現在の宝物館で起きた盗難事件である。現宝物館は昭和41年に改築されたもので、セキュリティ、また文化財を保護する上での温度・湿度管理の面からも、現在の基準からは機能上の不満があった。そこで、太子堂建立900年を迎える今年のオープンを目途として、文化庁指導の下で、新たに収蔵庫が建

てられることとなった。

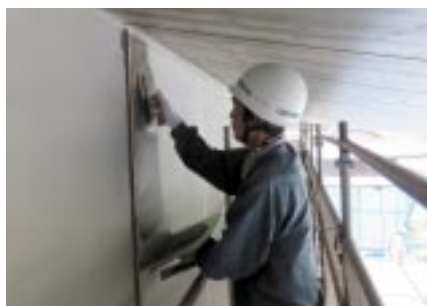
収蔵庫は展示施設を兼ねており、その目玉として建立当時の太子堂内部が再現される予定である。太子堂の内壁は現在、900年に渡る灯明のすすで覆われているが、その壁には当時、いずれも都の一級絵師が描いたとされる美しい壁画が隠されている。肉眼での確認は困難だが、近年、赤外線撮影技術の発達により、その詳細が確認された。また、蛍光X線により使用されている顔料の成分を分析

することで、色も識別できるようになり、復元模写が可能になった。そこで、涅槃図・九品来迎図の復元模写図を須弥壇後壁とし、そこに仏像を並べることでかつての太子堂が再現される。

設計を手掛けたのは、地元・加古川の(株)古田建築設計事務所(古田充社長)である。設計においては「文化財の保存」が命題であり、特にこの新たな収蔵庫は、宝物を保管する収蔵室のセキュリティや収納方法、展示公



断熱ボードにカチオン性樹脂モルタルでメッシュを伏せ込み、下地を作る。



さらにメッシュを伏せ込み、二重カチオン + 二重メッシュの下地とする。



下地が軟らかいうちに上塗りをかけ、下地と一体化させる。塗り付けをする品川房男さん。



乾燥のタイミングを見て、剣山で掻き落とす。掻き落としをする平山真也さん。



掻き落としを行う品川博さん。



最後にドライウォッシュブラシで表情に変化をつける。手製のブラシで細部を整える品川清志さん。



仕上材には、イタリア漆喰「ラスチコ」とセメントを1：1の割合で混ぜ合わせたモルタルを使用した。「メイン(バイエル)」で墨色に着色。



下地から仕上げまでの工程見本。ひび割れ対策に万全を期した。



品川清志さん特製の剣山(上)とドライウォッシュブラシ(下)。手に持ち易く工夫されている。

開時の搬入出の方法なども含めて、寺院における宝物収蔵施設のモデルケースとして注目を集めていた。

文化財保存に求められる諸条件のうち、適正な温度・湿度環境を保つことは不可欠であり、壁面の「断熱性」は重要なテーマの一つだった。これをクリアすべく、RC躯体の外壁には外断熱として厚さ35mmの断熱ボード(東邦レオ^(株))を張ることになった。問題となるのは、その仕上げである。外断熱の仕上げ材として想定される

選択肢(金属や吹付け、タイルなど)の中で、古田さんは「新しい建材を使うべきではない」と考えた。周辺にあるのは、いずれも歴史のある建築物ばかり。屋根は当然瓦葺きであり、外壁も環境に適した仕上げ材を選ぶ必要があった。

外断熱 + モルタルの外壁

古田さんは、収蔵庫を設計する上で「時間」をテーマのひとつに据えて

いた。そこには、文化財を永年に渡り守ってほしいという願いと、太子堂の中で900年間存在し続けた壁画への畏敬の念も込められた。文化財を守る堅固さを表すために、外壁にはある程度表面の硬さを感じさせる仕上げも必要だった。

地元・加古川の左官である品川博さんに外断熱に適した仕上げを相談した古田さんは、まず品川さんの編み出した水を使わない洗い出し「ドライウォッシュ工法」に注目した。同工